

## 第102回理事会議事録

(インターネットによるネット理事会)

日本パウダーコーティング協同組合事務局

- (1) 招集年月日 : 2021(令和3)年3月9日
- (2) 開催日時及び場所 : 2021(令和3)年4月12日(月)午後1時—午後3時00分  
「インターネットによるオンライン会議システムを使用」  
使用ツール ; Google Meet
- (3) 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法:  
理事の数15名 監事の数3名  
出席理事の数 15名の内 10名本人出席(リモートにて) \*過半数は8なので成立  
出席監事の数 3名の内 2名本人出席(リモートにて)
- (4) 議事経過の要領及びその結果 :  
第102回理事会は、2020年初めから続く新型コロナウイルス感染症禍により第99回、100回、101回に続きリモートにての開催で実施。

### [1] 報告事項

#### 1. 2021(令和3)年1-3月組合報告(事業報告書内1-3月分より)

##### 1) 組合員退会

(株)沖山製作所(株) 2021(令和3)年3月31日付で退会

2020(令和2)年5月退会届受理、第101回理事会で承認済

(参考報告)

粉体塗装研究会における入退会

・退会 年間会員2社

・現在の会員会社数

年間会員 31社、資料会員 47社、特別会員 13社

その他資料送付団体 5

##### 2) 組合活動報告

第25期事業報告書案にて一括報告する。

#### 2. 議案関係

##### 2-1. 第1号議案 : 第25期事業報告書(案)について

① 第25期事業報告書案全体を報告

② 監事1名より提出のあった指摘部分についての報告

・概況部分 : 1か所言い回しを修正

・記載ミス及び記載方法の変更 : 3か所修正

・名古屋支部報告で1か所修正

③ 確認追記(事務局)

・東京支部報告 - (令和〇年)を入れる。

・大阪支部報告 - 東京都同様の仕様にする。

・第102回理事会部分の作成(2021年4月12日開催のため。事業報告外の期間であるが例年掲載している)

##### 2-2. 第2号議案 : 第26期事業計画書(案)について

① 第26期事業計画書案全体を報告

② 監事1名より提出のあった指摘部分について報告

・ですます統一 ・5G(Generation), CASE (Connected Automated Shared

Electric) と表示する。

- ・ 記載ミスの変更 : 1か所修正
- ・ 同姓の方々の表示方法について : 高橋(大)、高橋(正)、福田(訓)、福田(事務局) とする。
- ・ IPCO等の紹介が3Pと5Pの2か所あるのでどちらかに統一

③ 確認追記(事務局)

- ・ ヨシモトポール㈱の賦課金変更による予算案の修正。

3. 役員改選について

① 大坂理事より

ヨシモトポール㈱の今後の粉体塗装にかかわる事業についての説明を行っていただいた。今後、組合員として残るが理事は今限りで退任されることになった。  
(賦課金 15万 ⇒ 5万円への変更手続きを行う)

② 役員選出案について

大坂理事以外の役員の方は留任で進める。

高橋(正) 監事か近藤監事を理事に推薦 — 理事会後調整して改めて提出することに。

⇒ 4月13日打診の結果高橋(正)氏が受けていただけることになった。

詳細は第26期事業計画案を修正して提出。

4. 総会開催日と総会方法について

- ・ 5月24日と25日で理事会メンバーに打診して決める。

⇒ 事務局より 経産省、法務局、税金関係等5月中に処理が必要なことから24日(月)の実施を希望。⇒ 最終的に5月24日で後日決定

- ・ 総会の方法はコロナ禍によりネット総会(リモート)で実施する。
- ・ 役員改選もあるので中央会に総会実施方法の再確認等打診を事務局の方で行う。

5. 参加役員の方々から簡単に現状報告

次回理事会、

- 1) 第103回理事会(三役選任) : 第25回総会の中で実施。
- 2) 第104回理事会 : 9月実施。(方法・場所はコロナの状況を見て今後決める)

以上

## 第25回総会議事録

[インターネットによるオンライン会議システムと意思決定確認通知(書面決議・委任状)使用]

日本パウダーコーティング協同組合事務局

- (1) 招集年月日 : 2021年(令和3年) 4月28日  
(2020年初頭より続く新型コロナウイルス感染症により本年もメルパルク東京での通常総会を中止し、インターネットによるオンライン会議システムと意思決定確認通知による書面決議及び委任状(代理人)方式を使用する旨を連絡、4月28日に議事案等資料を会員宛に送付)
- (2) 開催日時及び場所  
開催日及び時間 : 2021(令和3)年5月24日(月) 13時15分—14時15分  
「インターネットによるオンライン会議システムを使用」(グーグルミート)  
開催場所 : 東京都台東区谷中2-6-29 株三王本社  
(基点参加者 3名 + リモート 11名)
- (3) 組合員数及び出席者数並びにその出席方法:  
1. 組合員総数 49名  
2. 出席者数 38名  
3. 出席方法 本人出席 2名  
〔株三王本社、3名参加の内1名は員外理事(福田)〕  
リモート出席 8名 (インターネットによるオンライン会議システム使用)  
\* 11名リモート参加の内3名は賛助会員  
\* リモート出席の8名の内7名は書面決議も提出  
書面決議出席 28名(当日基点出席者、リモート参加者は除く)
- (4) 出席理事・監事 : 理事 8名、監事 2名  
⇒ 役員選出後は監事2名の内1名が理事に選出されたことにより、第103回理事会(三役選任)は理事9名、監事1名にて実施。(過半数は8のため成立)
- (5) 議事の経過の要領及びその結果(議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決件数)  
第1号議案 第25期〔2021(令和3)年3月期〕報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び損失処理案承認の件  
議長は事務局に原案を朗読、説明させた。続いて本議案の可否を出席者及びオンライン会議参加者に諮ったところ、満場一致をもって異議無く可決した。  
書面決議賛成 28 含む 賛成 38 で可決(過半数 25)
- 第2号議案 第26期事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件  
議長は事務局福田良介に原案を朗読、説明させた。続いて本議案の可否を出席者及びオンライン会議参加者に諮ったところ、満場一致をもって異議無く可決した。  
書面決議賛成 28 含む 賛成 38 で可決(過半数 25)
- 第3号議案 役員選出の件  
議長は任期満了に伴う役員改選を行うため、定款に定める定数の範囲内の理事15名と監事2名の改選をした旨を述べ、役員を選出にあたっては、指名推選制をとりたい旨議場に諮ったところ全員賛成した。議長は指名推選制の賛成を得たので選考委員の選出方法を議場に諮ったところ、議長一任と決定した。  
議長は選考委員2名を選出し、選考委員は別途オンラインで理事15名、監事2名の選考に入った。選考の結果、選考委員より次の者が指名された旨報告され、議長は報告された者を当選人として認

めることの可否を議場に諮ったところ、満場一致をもって全員異議無く当選人として決定した。なお、当選人はその就任を全員承諾した。

書面決議賛成 28 含む 賛成 38 で可決（過半数 25）

理事：渡邊 忠彦、板橋一博、久、長谷川智久、前島靖浩、福田良介、新井 裕喜、岩村 晃治、小澤 洋一、片山 智彦、社本 吉正、高梨 裕幸、高橋 大、高橋 正、福田 訓之、村田 晋

監事：近藤旭、榛葉 幸宏

その後別途オンラインにて第103回理事会を開催した結果、次の者が代表理事(理事長)、副理事長、及び専務理事に選出され、就任を承諾した。

代表理事(理事長)	渡邊 忠彦
副理事長	板橋 一博
副理事長	長谷川 智之
副理事長	前島 靖浩
専務理事	福田 良介

- (6) 監事が報告した会計に関する議案又は決算関係書類に関する調査の結果の内容の概要  
監事より財産目録、貸借対照表、損益計算書及び損失処理案は法令及び定款に従い表示され、適合しているものと認める旨の監査報告があった。なお監事から同時に「当協同組合の監事は定款第28条(監事の職務)に定めるところにより、監査の範囲が会計に関するものに限定されているため、業務監査権限を有していない」旨の報告があった。

以上をもって第25回通常総会の議案全ての審議を終了し午後14時10分閉会した。

以上

## 第103回 理事会 議事録

日本パウダーコーティング協同組合事務局

- (1) 招集年月日 2021（令和3）年5月24日
- (2) 開催日時及び場所
1. 開催日時 2020（令和3）年5月24日 水曜日  
13時50分-14:00
2. 開催場所 ㈱三王本社 東京都台東区谷中2-6-29
- (3) 理事・監事の数及び出席理事・監事の数並びにその出席方法：
- 理事の数15名 監事の数2名  
出席理事の数 15名の内 9名本人出席（基点にて3名、リモートにて6名） \*過半数は8なので成立  
出席監事の数 2名の内 1名本人出席（リモートにて）
- (4) 議事経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権数並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）
- 第1号議案 代表理事（理事長）、副理事長及び専務理事選出の件  
定款第27条に基づき互選の結果、全員一致で次の者が代表理事（理事長）、副理事長及び専務理事に選任され、その就任を了承した。
- 代表理事： 渡邊 忠彦  
副理事長： 板橋 一博（事前意思確認書により就任了承）  
副理事長： 長谷川 智久  
副理事長： 前島 靖浩  
専務理事： 福田 良介

以上により理事会の議案全ての審議を終了したので、議長は14時00分閉会を宣した。  
以上

## 製品・新製品のご紹介

夏季号は(株)コーレンスと(株)コープラント様からご依頼がございました。

### 1. (株)コーレンス

#### ①フランス・サンキス社製触媒乾燥機

注) 同社はパウダー協として2018年のフランス海外研修にて訪問させていただきました。

#### ②スイス・コートマスター社製非接触式膜厚計

注) 粉体塗装研究会 2021-1, 2021-3 (追加紹介) セミナーにてご講演いただきました。

### 2. コープラント(株)

同社はアクゾノーベル社台湾の日本総代理店で、台湾アクゾ社を通してフランス、イタリアのアクゾ社製品も一部取り扱っております。また、韓国アクゾ社とは直接取引をされております。

### 3. ナトコ(株) 新製品紹介です。

この製品・新製品のご紹介ページはパウダー協会員会社の中で特にご紹介したい製品、特に新製品のご紹介を無料で行っています。一回の発刊で3社 (Max. 2ページ) までとしています。ご活用下さい。

事務局

## フランス・サンキス社製 触媒乾燥機

特徴：従来の熱風乾燥機に対し、  
乾燥時間を50~70%近く短縮可能 (特許取得製品)

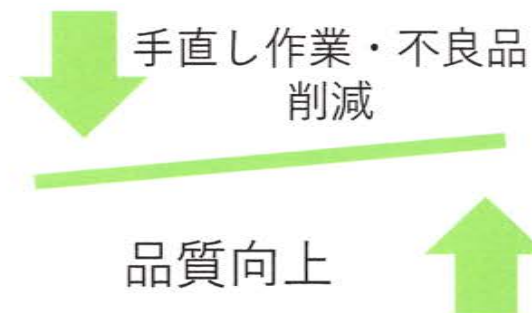


- ◎生産能力向上
- ◎省エネ・省スペース
- ◎ワキ・ブツが出にくく塗装仕上りも良い



## スイス・コートマスター社製 非・接触式膜厚計

特徴：これまで測定困難であった  
未乾燥(ウェット状態)でも膜厚測定が可能 (特許取得製品)  
(粉体・液体問わず対応可能)



総輸入元代理店

**株式会社コーレンス**

第四営業本部 第二部

東京都港区六本木1丁目8番7号

TEL: 03-5114-0722

d42@correns.co.jp

[www.correns.co.jp](http://www.correns.co.jp)

## アクゾノーベル 取扱い製品一覧



アクゾノーベル台湾 日本総代理店  
コープラント株式会社  
tel: 03-5493-2278 fax: 03-5493-2289



AkzoNobel  
Authorized Distributor

### ○ スタンダード製品

製品種類	製品名	製品区別	グロス	焼付け温度	使用用途
エポキシ樹脂系	Interpon 100		30-92以上	200℃×10分	室内用途, 耐食性・耐水性が要求される製品
ポリエステル樹脂系 (下記耐候性商品比較有)	Interpon 600	TGIC硬化	60-92以上	200℃×10分	室外用途, 耐候性が要求される製品 ※ 耐候性は下記欄へ記載
	Interpon 610	HAA硬化	60-92以上	180℃×10分	
	Interpon 430	艶消用	3-50	200℃×15分	
エポキシポリエステル樹脂系	Interpon 700		30-92以上	200℃×10分	室内用途, 製品全般

### ○ 高耐候製品

製品種類	製品名	グロス	焼付け温度	塗膜保証	耐候性基準 (QUV試験グロスロス50%以内 色差ロス $\Delta E \leq 5$ )
アクリル樹脂系 ポリエステル樹脂系	Interpon 400 Interpon 600/610 Interpon 430 Interpon 810		上記参照 200℃×15分		QUV-A 500時間 QUV-B 150時間 QUV-A 2000時間 QUV-B 300時間 QUV-A 3000時間 QUV-B 500時間
アルミ建材用(Dシリーズ)* ポリエステル樹脂系 フッ素樹脂系	Interpon DI010 Interpon D2015 Interpon D3020		180℃×10分	10年 15年 20年	AAMA2603規格基準製品 AAMA2604規格基準製品 AAMA2605規格基準製品

\* 弊社の認定工場資格取得が必要となります。資格取得が無い場合でも製品のご提供は可能ですが、アクゾノーベル社による塗膜保証が付与されません。

### ▽ 各種オプション

種類	製品名	詳細
トリボ仕様	特記なし	トリボガン用に塗料の帯電性を良くします。
発砲防止	特記なし	鋳物等の素材塗装向けに発砲抑止します。
模様	特記なし	ファインテクスチャー、レザートン、バンピーなど
均一塗膜	Interpon AF	粉末粒度を均一になるよう調整し、フロー性を良くします。
超薄膜	Interpon XTR	30-35 $\mu$ の膜厚での塗装が可能です。
ボンディングメタリック	Interpon AS	吐出前の含有高輝剤を樹脂とつなげる技術です。回収による再使用が可能です。
抗菌	Interpon AM	塗膜に抗菌効果を含むことが可能です。
耐死角塗着	Interpon AC	噴き付け時に付着しにくい角などの資格にも塗料が付きやすい仕様されています。

※上記オプションはスタンダード製品への付与が可能です。その為、性能はスタンダード製品に帰属します。

また、オプション内容によっては製品により可否含め条件がございますのでお問合わせください。



# 1コートで高エッジカバー、高防食性を発揮！

## ナトコの粉体塗料 **ECONA<sup>®</sup> 52Q**

### 優れた高防食性！

塩水噴霧試験：リン酸亜鉛処理鋼板

1500時間



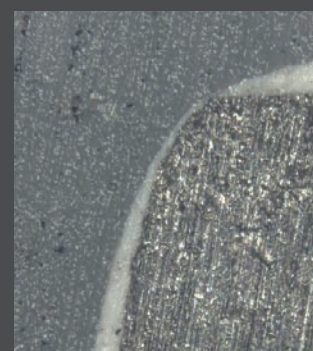
エポキシ粉体

3000時間

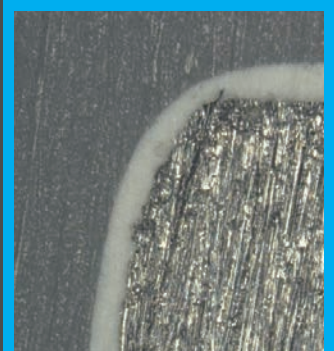


ECONA 52Q

### 高いエッジカバー性！



従来仕様

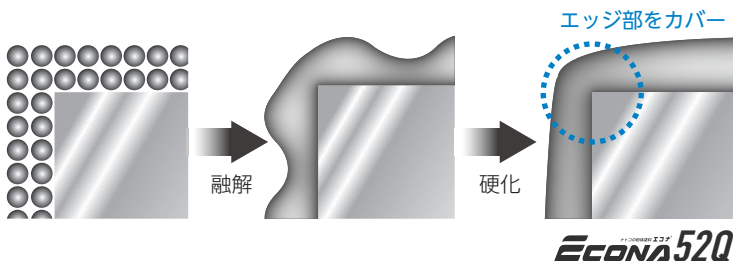


ECONA 52Q

高防食性+高エッジカバー性の2つの性能により、素材の端面部からの錆の発生も軽減できます

#### エッジカバーメカニズム

- 独自のレオロジー技術により、素材端面部への付き回り性が優れています。
- 端面の薄膜化を防ぐことで、塗膜が高防食性の機能を発揮します。



#### 高耐候性

- 耐候性に一段と優れ、長期屋外使用が可能です。

